

有害プランクトン調査結果（速報）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所

令和2年12月9日付けで発出したカレニア ミキモトイ *Karenia mikimotoi* の有害プランクトン警報 (R2 No. 1-1) は、令和2年12月21～22日の調査結果をもって解除します。

- 令和2年12月21～22日に東京湾で有害プランクトン調査を実施したところ、カレニア ミキモトイは内湾の全域および内房海域の第2海ほ沖～勝山沖で見られましたが、最高密度は千葉沖の2.7細胞/mLと全ての調査点で注意が必要な密度(100細胞/mL)を下回りました(下表)。
- また、令和2年12月22日に県環境研究センターが行った調査においても、内湾の浦安沿岸(60細胞/mL程度)、千葉沿岸(30細胞/mL程度)でカレニア ミキモトイが確認されましたが、注意が必要な密度(100細胞/mL)を下回りました。
- 次回の調査は令和3年1月6日の予定です。

	調査点	カレニア ミキモトイ 密度(細胞/mL)		調査点	カレニア ミキモトイ 密度(細胞/mL)
	内 湾	羽田沖		0.1	内 房 海 域
船橋沖		1.3	大貫沖	0.7	
千葉沖		2.7	浦賀沖	0.2	
盤洲北部		0.2	保田沖	0.6	
盤洲南部		1.3	勝山沖	0.3	
富津沖		0.3	岩井沖	確認されず	
アクアライン北部		0.5	富浦沖	確認されず	
アクアライン南部		0.4			
注意が必要な密度			100		
警戒が必要な密度			1000		

千葉県水産総合研究センターでは、東京湾でプランクトンの出現状況調査を実施し、毎月1回有害プランクトン情報を発行しています。

有害プランクトンが確認された場合など必要に応じて調査結果を速報として発行します。

(連絡先 : 東京湾漁業研究所 0439-65-3071)